

「東京レポ・レート（レファレンス先平均値）作成・公表要領」 中一部改正

○ 3. を横線のとおり改める。

3. 作成方法

レファレンス方式（5. に定めるレファレンス先が、特定時点において市場実勢と考えるレートを報告し、報告されたレートの平均値を算出する方式をいう。）とする。

具体的には、以下のとおりとする。

対象取引	(不変)
レートの定義	
対象期間	・ 翌日物 (T+0、T+1、 S/N <u><T+2></u>)、1W、2W、3W、1M、3M、6M、1Y。 —— ターム物は T+3 <u>T+2</u> 決済の取引を対象とする。
レートの刻み と 算出方法	(不変)

(注) (不変)